



当初設計

2025年度

藤江中山南幹線

福山市沼隈町地内

道路舗装工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=150.0m 舗装幅員 W=6.7~8.3m 路上路盤再生工 A=1120m ² 基層工 A=1120m ² 表層工 A=1120m ² 区画線工 L=450m	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、道路舗装工事（藤江中山南幹線）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）

- ・本工事は「六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）」の対象工事であり、次の工種について、六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。なお、試験方法は、セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）によるものとする。
- ・土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
- ・六価クロム溶出試験対象工種名及び検体数
路上路盤再生工： 配合設計段階 1 検体

第3章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：上下水道局
- ・協議内容：工事に支障となる配水管移設について

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。

第4節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第5節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第6節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

路上路盤再生工特記仕様書

第1章 総則

第1条 この特記仕様書は下記の工事に適用する。

工事名 道路舗装工事（藤江中山南幹線）

第2条 本特記仕様書に規定されていない諸規定については、舗装再生便覧の規定による。

第3条 路上路盤再生工法は、路上再生セメント・アスファルト乳剤安定処理工（スタビセメント RC 工法）とし、路上において路上路盤再生用添加剤と路上路盤再生用骨材をともに混合し、締め固めて安定処理した路盤を新たに構築するものである。

第4条 路上路盤再生添加剤は、高炉セメント及びセメント混合用アスファルト乳剤を使用するものとする。

第5条 安定処理厚 10 cm の場合、添加剤の添加量は 100m² 当り高炉セメント＝0.536 t、セメント混合アスファルト乳剤＝1.082 t を基準とするが、施工前に路上路盤再生用骨材を採取し配合設計を実施して、アスファルト乳剤の添加量及び下記に示す CAE 一軸圧縮試験の基準を満足するセメント量を決定し監督員の承認を得るものとする。

第6条 配合設計の段階で溶出試験を実施すること。（環境庁告示 46 号溶出試験）

上記溶出試験において、土壌環境基準（0.05mg/l）を超えなかった場合は、施工後に実施する溶出試験を必要としない。

第2章 算出式及び基準

路上路盤再生工 設計路盤厚 $t = 0.10\text{m}$

◆ 添加セメント量算出式（100m² 当り）

$$\begin{array}{ccccccccccc} \text{面積} & \times & \text{設計厚} & \times & \text{設計密度} & \times & \text{設計セメント量} & \times & \text{ロス率} & = & \text{100m}^2 \text{ 当り使用料} \\ 100\text{m}^2 & \times & 0.10\text{m} & \times & 2.1\text{t/m}^3 & \times & 2.5\% & \times & 1.02 & = & 0.5355\text{t}/100\text{m}^2 \\ & & & & & & & & \text{1kg 当換算} & & \text{セメント添加剤数量} \\ & & & & & & 0.536 & \times & 1000 & = & 536\text{kg}/100\text{m}^2 \end{array}$$

◆ 混合用乳剤量算出式（100m² 当り）

$$\begin{array}{ccccccccccc} \text{面積} & \times & \text{設計厚} & \times & \text{設計密度} & \times & \text{設計乳剤量} & \times & \text{ロス率} & = & \text{100m}^2 \text{ 当り使用料} \\ 100\text{m}^2 & \times & 0.10\text{m} & \times & 2.1\text{t/m}^3 & \times & 5.0\% & \times & 1.03 & = & 1.0815\text{t}/100\text{m}^2 \\ & & & & & & & & \text{1L 当換算} & & \text{混合用乳剤数量} \\ & & & & & & 1.082 & \times & 1000 & = & 1082\text{L}/100\text{m}^2 \end{array}$$

CAE 一軸圧縮試験の基準値

特性値	基準値
一軸圧縮強さ σ_m (Mpa)	1.5～2.9
一次変位量 δ_1 (1/100 cm)	5～30
残留強度率 σ_r (%)	65 以上

※ セメント及びアスファルト乳剤は下記の規格に合格したものとする。

高炉セメント・・・JIS R5211

セメント混合用アスファルト乳剤 (MN-1) の規格

項 目	セメント混合用アスファルト乳剤 (MN-1)
エングラード (25℃)	2～30
ふるい残留分 (1.18 mm) %	0.3 以下
セメント混合性 %	1 以下
蒸留残留分 %	57 以上
蒸留残留物 針入度 (25℃)	60～300
蒸留残留物 トルエン可溶分 %	97 以上
貯蔵安定度 (24 時間) %	1 以下

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 74 福山市(沼隈) 00-07.09.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	06 舗装工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路修繕					Y1G02 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1G0203 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1G020301 レベル3
	1	式			
掘削 【土質,施工方法,押土の有無】 【障害の有無,施工数量】		m3			Y1G02030101レベル4
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満	60	m3			SPK25040001 00 単第0 -0001 表
残土処理工					Y1G020310 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 【土質】		m3			Y1G02031002レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離7.5km以下(6.5km超)	60	m3			SPK25040002 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分		m3			Y1G02031003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土処分	60	m3			T9003 00
舗装工	1	式			Y1G0204 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G020402 レベル3
舗装版切断 【舗装版種別,舗装厚】		m			Y1G02040201レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	15	m			SPK25040307 00 単第0 -0003 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1G02040202レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	1,120	m2			SPK25040306 00 単第0 -0004 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G02040205レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	56	m3			SPK25040155 00 単第0 -0005 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G02040206レベル4
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	132	t			T9006 00
上層路盤 【路盤材種類,路盤材規格,仕上り厚】		m2			Y1G02040208レベル4
路上路盤再生工 混合深さ20cm以下	1,120	m2			S2840 00 単第0 -0006 表
基層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G02040209レベル4
基層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	1,120	m2			SPK25040242 00 単第0 -0011 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G02040211レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	1,120	m2			SPK25040244 00 単第0 -0012 表
区画線工	1	式			Y1G0209 レベル2
区画線工	1	式			Y1G020901 レベル3
溶融式区画線 【施工方法区分,規格・仕様区分,厚さ】 【排水性舗装用の有無】		m			Y1G02090101レベル4
区画線設置(溶融式) 実線_15cm	300	m			SDT00001 00 単第0 -0013 表
区画線設置(溶融式) 実線_20cm	150	m			SDT00001 00 単第0 -0014 表
仮設工	1	式			Y1G0230 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G023021 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G02302101レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B					R0369 00
	40	人			
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
技術管理費					Z0006
技術管理費					YZZ06 レベル2
	1	式			
技術管理費					YZZ06001 レベル3
	1	式			
環境庁告示第46号溶出試験 六価クロム溶出試験費 試験方法1					TH003912 00
	1	試料			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					

本工事費 内訳表

頁0 -0007

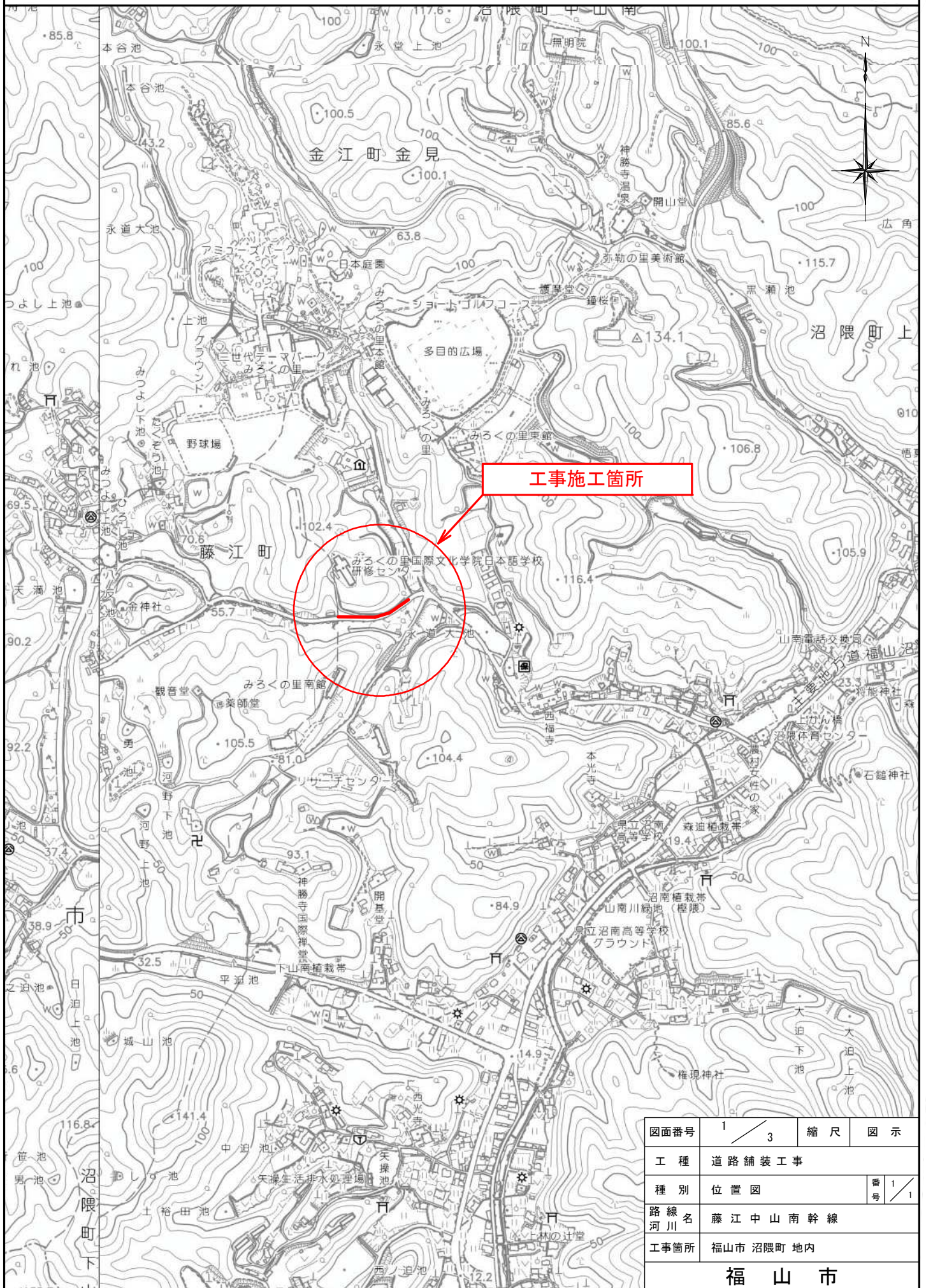
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事費計※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0008

[illegible]

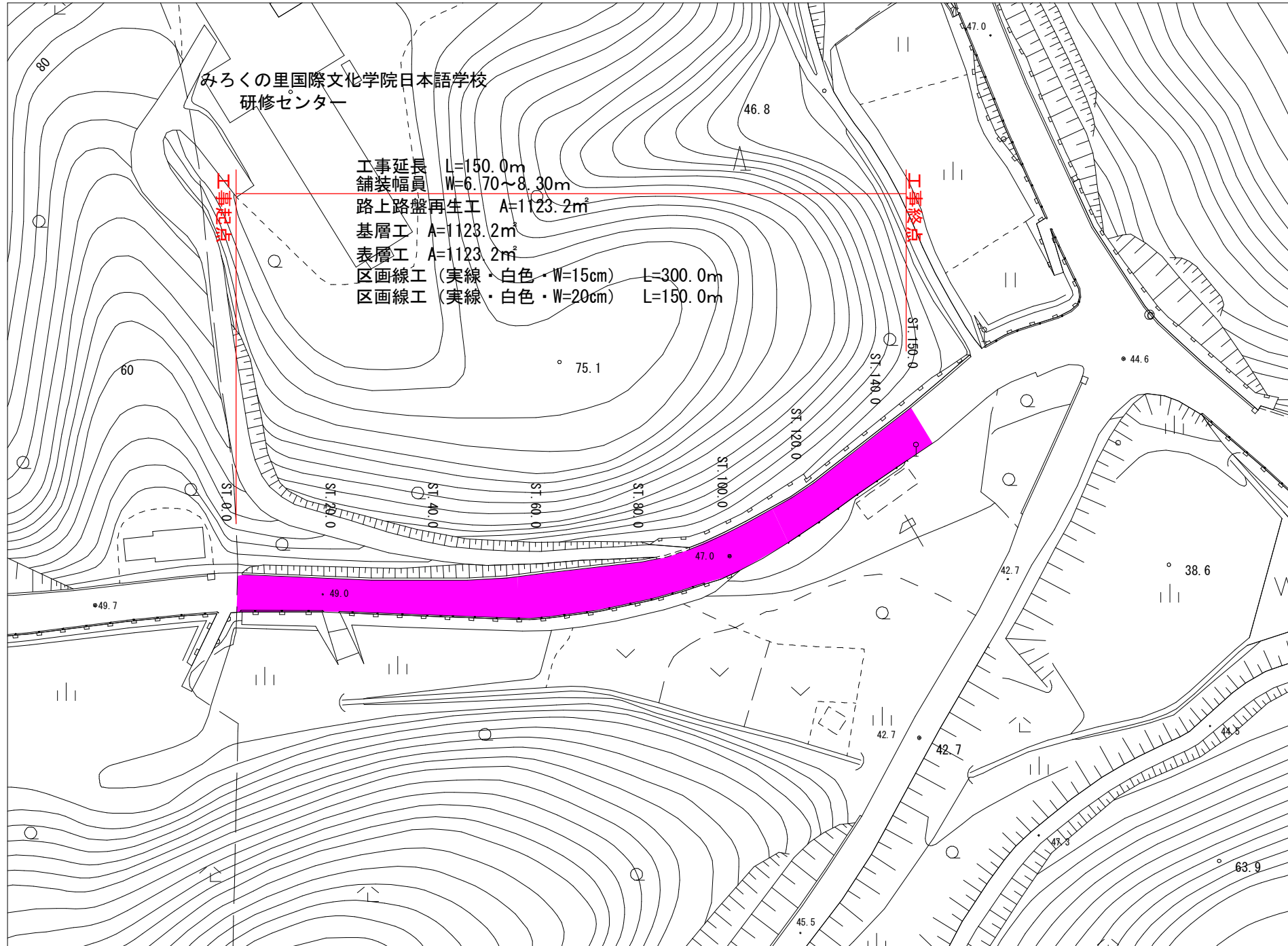
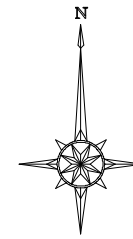
位置図 S=1/10,000



図面番号	1 / 3	縮 尺	図 示
工 種	道路舗装工事		
種 別	位 置 図	番 号	1 / 1
路 線 名	藤 江 中 山 南 幹 線		
工事箇所	福山市 沼隈町 地内		
福 山 市			

平面図

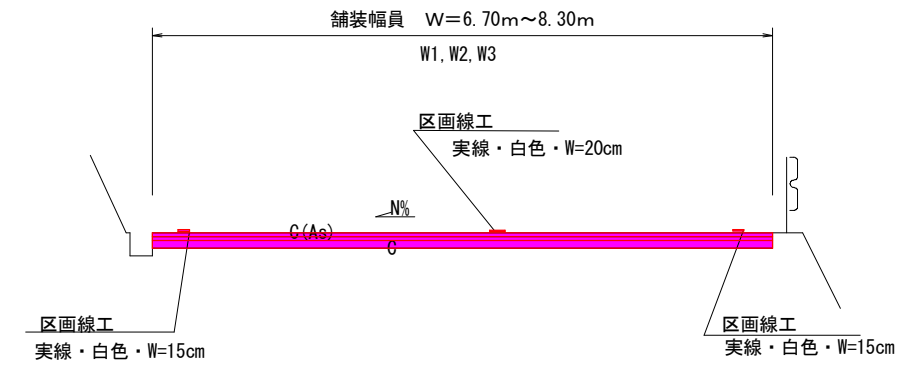
S=1:1000



標準横断図

S=1:100

ST. 80.0付近

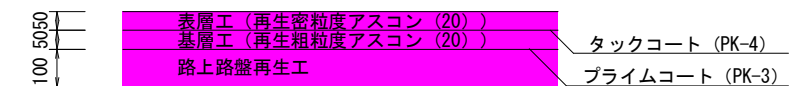


W1=表層工 (再生密粒度アスコン (20), PK-4, t=5cm)
W2=基層工 (再生粗粒度アスコン (20), PK-3, t=5cm)
W2=路上路盤再生工 (t=10cm)
C(Aa): 舗装版破碎 (既設舗装厚 平均t=5cm)
C: 路盤掘削 (掘削厚 平均t=5cm)

構造図

S=1:20

舗装構成

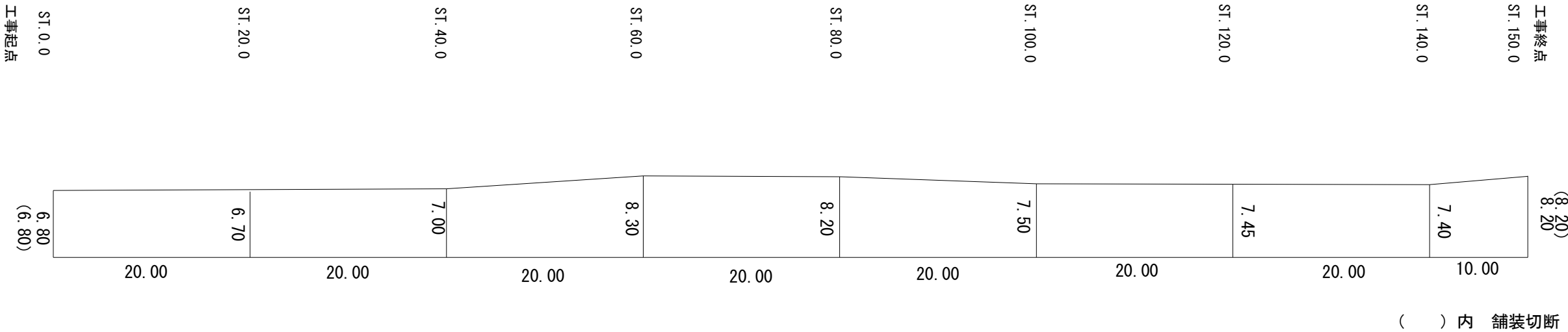


図面番号	2/3	縮 尺	図 示
工 種	道路舗装工事		
種 別	平面図・標準横断図・構造図	番 号	1/1
路 線 名	藤江中山南幹線		
工事箇所	福山市沼隈町地内		
福 山 市			

展開図（表層工・基層工・路上路盤再生工）

S=1:200

参考図



図面番号	3/3	縮 尺	図 示
工 種	道路舗装工事		
種 別	展開図		番号 1/1
路 線 名 河 川	藤江中山南幹線		
工事箇所	福山市沼隈町地内		
福 山 市			

参 考 图 书

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比: 42.72% 労務構成比: 37.91% 材料構成比: 19.37% 市場単価構成比: 0.00%
SPK25040001 障害無し 5,000m3未満

単第0 -0001 表
標準単価: 331.59000
1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	42.72%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	37.91%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.37%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0002

土砂等運搬

SPK25040002

単第0 -0002 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離7.5km以下(6.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 44.67% 労務構成比:

40.44%

材料構成比: 14.89%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,400.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.67%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	40.44%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=24 距離7.5km以下(6.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0003

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0003 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0004

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0003 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

舗装版破碎

SPK25040306

単第0 -0004 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 12.85%

労務構成比:

81.24%

材料構成比: 5.91%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

217.37000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.85%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.52%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0006

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.05%

SPK25040155
DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)
労務構成比: 39.87%

単第0 -0005 表
材料構成比: 16.08%

1
標準単価: 4,846.90000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.87%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=57 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

施工単価表

頁0 -0007

路上路盤再生工
混合深さ20cm以下

S2840

単第0 -0006 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.127	人			1*0.1265
普通作業員	0.506	人			4*0.1265
セメント（tパック） 高炉B種	536.000	kg			
アスファルト乳剤（JISK2208） アスファルト乳剤（混合用） MN-1 セメント混合リサイクル用	1,082	L			
機-18_ロードスタビライザ運転 再生用：処理幅2.0m 深0.4m	0.127	日			単第0-0007 表
機-18_モータグレーダ運転 （土工用）ブレード幅 3.1m 排出ガス対策型1次基準	0.127	日			単第0-0008 表
機-18_ロードローラ運転 マカダムローラ10～12t 排出ガス対策型1次基準	0.127	日			単第0-0009 表
機-28_タイヤローラ運転 質量 8～20t 排出ガス対策型	0.127	日			単第0-0010 表
諸雑費	2	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 混合深さ20cm以下 C=1 【F】添加剤(kg) E=1082 混合用乳剤使用数量(L/100m2)			B=536 添加剤使用数量(kg/100m2) D=1 混合用乳剤を使用する F=2 【F】混合用乳剤(L)		

施工単価表

頁0 -0008

**路上路盤再生工
混合深さ20cm以下**

S2840

單第0 -0006 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

機-18_ロードスタビライザ運転
再生用：処理幅2.0m 深0.4m

S9204

單第0 -0007 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

機-18_モータグレーダ運転
(土工用)ブレード幅 3.1m

S9191
排出ガス対策型1次基準

單第0 -0008 表

1 目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

機-18_ロードローラ運転
マカダムローラ10～12t

S9189

單第0 -0009 表

排出ガス対策型1次基準

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

機-28_タイヤローラ運転
質量 8~20t

S9000033

單第0 -0010 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

基層(車道・路肩部)

SPK25040242

単第0 -0011 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.63%

労務構成比:

12.02%

材料構成比: 86.35%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,532.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.04%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.16%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.16%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.32%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.43%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.40%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.87%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0014

基層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超
機械構成比: 1.63% 労務構成比: 12.02% 材料構成比: 86.35% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040242
1層当り平均仕上厚50mm

単第0 -0011 表

1
標準単価:

m2 当り
1,532.10000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)		77.19%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm			TTPC00023 TTPT00281
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		8.47%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用			TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油		0.58%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=4 C=8 G=1 I=1	平均幅員3.0m超 再生粗粒度アスコン(20) - -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

頁0 -0015

表層(車道・路肩部)

SPK25040244

単第0 -0012 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.44%

労務構成比:

10.68%

材料構成比: 87.88%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,723.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.92%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.16%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.13%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0016

表層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超
機械構成比: 1.44%
SPK25040244
1層当り平均仕上厚50mm
労務構成比: 10.68%
材料構成比: 87.88%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0012 表
1
標準単価:
m2 当り
1,723.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	84.70%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.57%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.51%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)			B=50 E=1 H=1 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

区画線設置(溶融式)
実線_15cm

SDT00001

単第0 -0013 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	598.500	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	26.250	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	26.250	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	42.000	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 実線_15cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0018

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0013 表

1000

m

当り

実線_15cm

[illegible]

施工単価表

区画線設置(溶融式)
実線_20cm

SDT00001

単第0 -0014 表

1000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_20cm 時間的制約なし	1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白	798.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm	34.650	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用	34.650	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	45.150	L			
諸雑費	1	式			
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=2 実線_20cm E=1 アスファルトに設置の場合			B=1 白色 D=1 塗布厚t=1.5mm F=1 時間的制約なし		
G=1 - I=1 -			H=1 - J=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0020

区画線設置(溶融式)

SDT00001

單第0 -0014 表

1000

m

当り

実線_20cm

[illegible]

本 工 事 総 括 表								
レベル1	レベル2 工 種	レベル3 種 別	レベル4 細 別	レベル5 規 格	単 位	計 算 数 量	計 上 数 量	摘 要
道路舗装工事（藤江中山南幹線）								
	掘削工							
		路盤掘削工	掘削工	オープンカット t=5cm	m3	56.2	60	1123.2*0.05
			土砂等運搬		m3	56.2	60	
			残土処分		m3	56.2	60	
	舗装工				t			
		舗装打換工	舗装版切断	アスファルト舗装 t=15cm以下	m	15.0	15	計第1-1表
			舗装版破碎	アスファルト舗装 既設舗装厚 平均t=5cm	m ²	1123.2	1120	計第1-1表
			殻運搬	アスファルト殻	m ³	56.2	56	1123.2*0.05
			殻処分	アスファルト殻	t	132.1	132	56.2*2.35
			路上路盤再生工	混合深さ10cm	m ²	1123.2	1120	計第1-2表
			基層工	再生粗粒度As(20) , PK-3, t=5cm	m ²	1123.2	1120	計第1-2表
			表層工	再生密粒度As(20) , PK-4, t=5cm	m ²	1123.2	1120	計第1-2表
	区画線工							
			区画線工	熔融式 実線・白色・W=15cm	m	300.0	300	平面図参照
				熔融式 実線・白色・W=20cm	m	150.0	150	平面図参照

